

◆新型コロナ感染に配慮した避難所運営 ◆

□受付時の注意

- ・東小学校では、避難所受付は体育館南側に設けられます。
- ・避難所自体の安全確認を終えてから避難所は開設されます。そのために、受付までに少し時間がかかります。
- ・避難所受付では、検温と消毒、受付簿への記載を行います。受付を待つ際には、前後の人と 2 メートルの間隔をとって、密に配慮します。



□避難所への入場

- ・避難所への入場は落ち着いて、急がずに。
- ・発熱などがあり、新型コロナウイルス感染が疑われる場合は、体育館以外の避難場所に誘導されます。
- ・避難所では、「要配慮者用スペース」が設けられています。また、退避する場所については、避難所誘導係の指示に従ってください。



□避難所内での密の回避



- ・避難所内では、新型コロナウイルス感染に配慮した対応が進められますが、すぐに対応がされないこともあります。（対応例：間仕切りや折りたたみベッドなど）
- ・まずは、避難者同士が密にならないように、避難者間が 2 メートル以上の距離がとれるように配慮して退避してください。
- ・避難所内で体調が悪くなったり、体調が悪い方を見かけたりした場合は、速やかに避難所運営担当者に申し出てください。
- ・避難所には、避難対応物資などが届けられますので、それまで安静に退避してください。



【なまずの会】とは？

「なかまと まちを ずっと守ろう！」の頭文字を取って名付けられた、東地区の有志によるグループです。年齢や性別等を問わず、誰でも参加・発言のできる会議として、地域の皆さんと一緒に防災について考えていく場です。



【発行・問合せ】 東地区まちづくり協議会・なまずの会

岐阜県不破郡垂井町綾戸 901-1 (東地区まちづくりセンター内)

電話：0584-23-0028 / Email : higashikou@town.tarui.lg.jp



防災なまづ通信

第2号

新型コロナウイルス感染症感染防止に配慮した災害時対応・避難所運営特集

◆新型コロナウイルス感染症感染防止に配慮した災害時対応の基本◆

- 避難所への避難はなるべく避けられるよう、安全に自宅で退避できるように日ごろから準備しておきましょう。
- 水害時に自宅に2階以上がない場合や、地震発災時に自宅が大きく損壊した場合は、2次被災に注意しながら、避難所に向かいましょう。友人宅や親戚宅への避難も有効です。
- 新型コロナウイルス感染症に配慮した避難所は、各地区小学校です。
- 避難所に向かう時は、通常の災害時対応グッズに加えて、マスク・消毒薬・体温計を持っていきましょう。

◆災害時対応の基本◆



地震のときは・・・

①地震が起きたら

- ・机などの下に身を置きましょう(Shake Out/シェイクアウト)。
- ・建物の外へ飛び出すのは危険です。



②地震が収まつたら

- ・火の元を確認し、電気ブレーカーを落としておきましょう。電気ブレーカーを落としておかないと、通電した時に火災が発生する恐れがあります。
- ・必ずスリッパや靴を履いて、自宅などの損壊状況を確認しましょう。その際、いつ余震が来るかわからないので、余震が起きたら再度、机などの下に身を置けるようにしましょう。

③自宅の損壊が激しい場合

- ・災害時対応グッズを持って避難所などに向かいましょう。
- ・道路などが地割れを起こしている恐れもあるので、車での避難は避けましょう。

大雨や台風のときは・・・

①水害は事前予測が可能です

- ・台風や大雨に関する情報をテレビ、ラジオ、インターネットなどから早めに確認しましょう。

②早めの対応が大切です

- ・自宅退避が不安な場合(2階などの避難場所が安全でないなど)は、雨脚が強くなる前に避難を開始しましょう。夜になると避難は困難になります。
- ・避難経路が水で溢れ出すと避難は困難となります。そうなる前に避難しましょう。
- ・2階以上の建物にお住いで、その場所が安全な場合は、2階以上に災害時対応グッズを置いて、2階以上で自宅退避することも検討しましょう。

③雨が上がっても油断は禁物です

- ・大雨の後は、晴れ渡っても半日から1日遅れで、川は増水します。それに伴い、一気に水が溢れてくることがありますので、雨が上がっても1日程度は避難所に留まるか、自宅退避を続けましょう。